

2024年度 第1四半期決算説明会

2024年8月29日

【証券コード 4401】



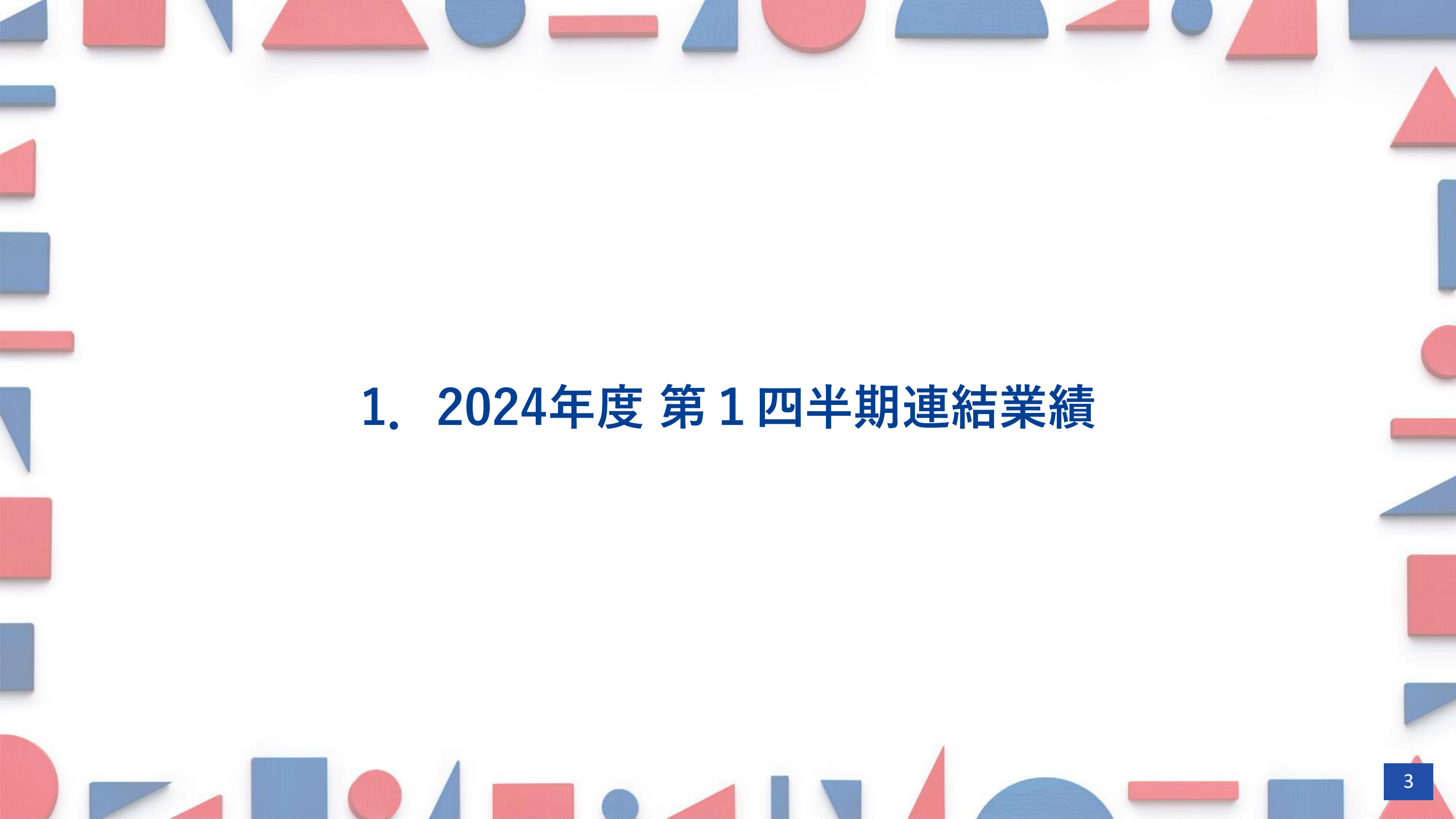
2024年度 決算説明

第1四半期

2024年4月1日～2024年6月30日

代表取締役社長兼社長執行役員
城詰 秀尊

1. 2024年度 第1四半期連結業績	・・・ P 3
2. 2024年度 連結業績予想の修正	・・・ P14
3. ご参考	・・・ P20

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

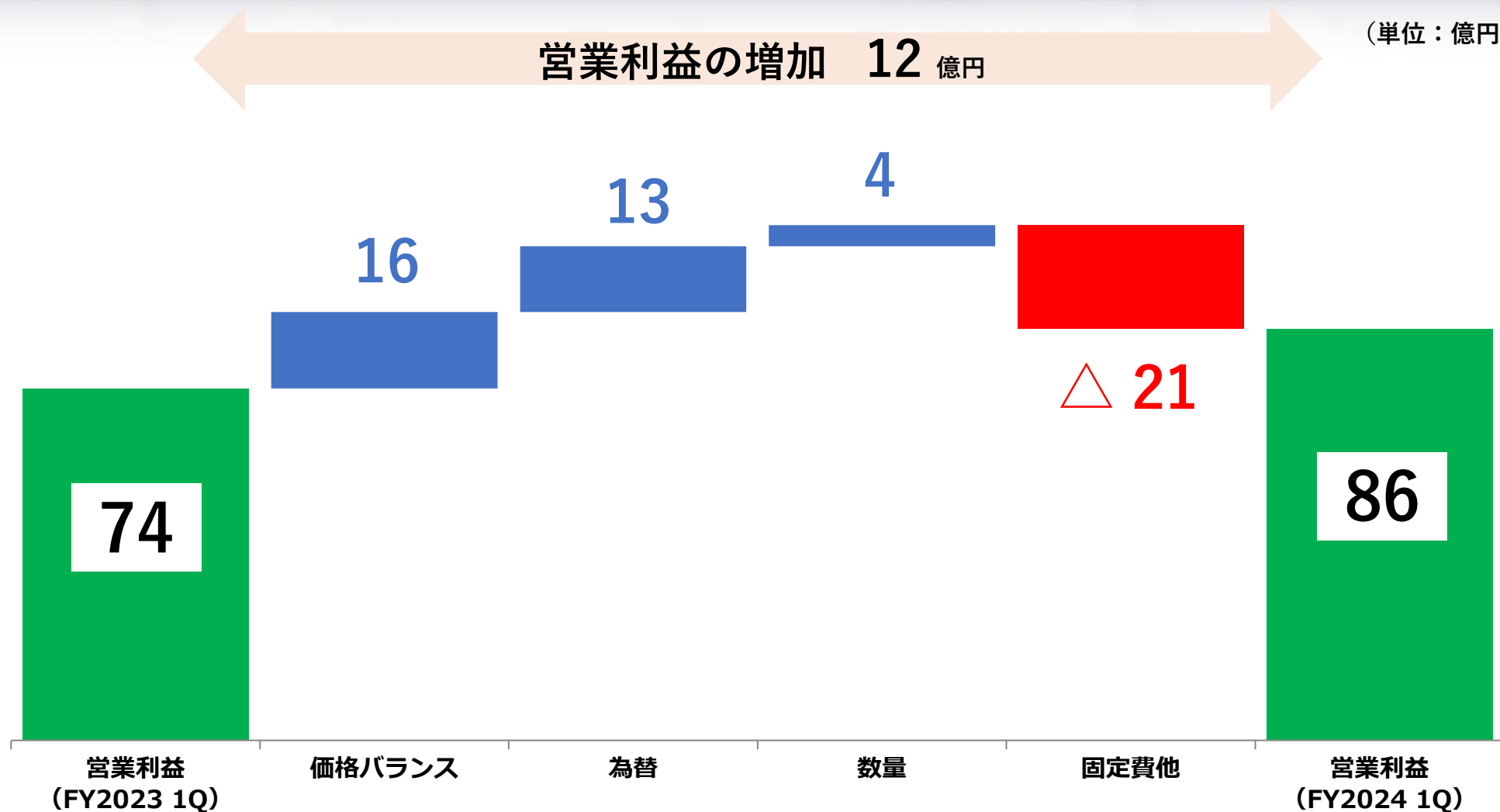
1. 2024年度 第 1 四半期連結業績

2024年度 第1四半期連結業績の概要

(単位：億円)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減	増減率 (%)
売上高	945	981	35	3.8
営業利益	74	86	12	17.1
経常利益	81	97	15	19.4
四半期利益	51	68	17	33.2
1株利益	50.0円	66.8円	16.8円	

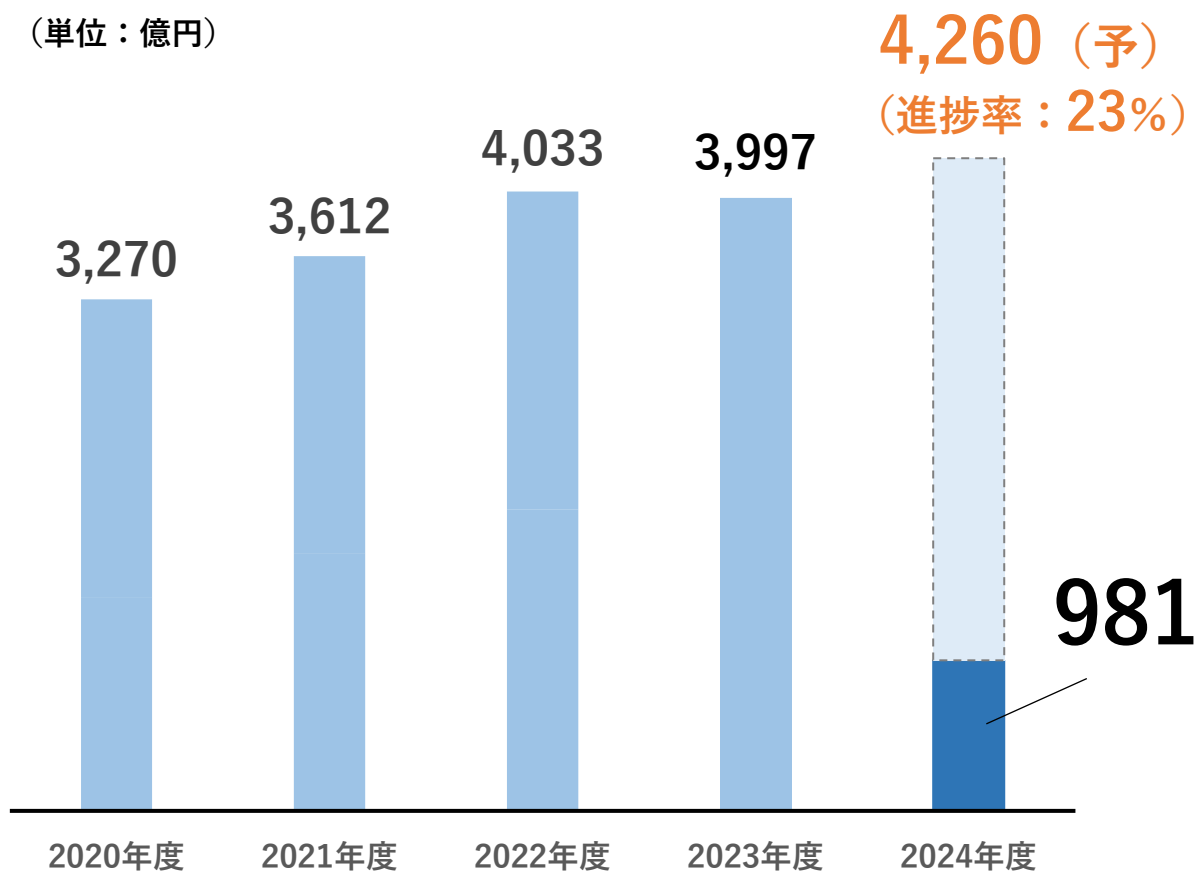
注) 金額は億円未満を切捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

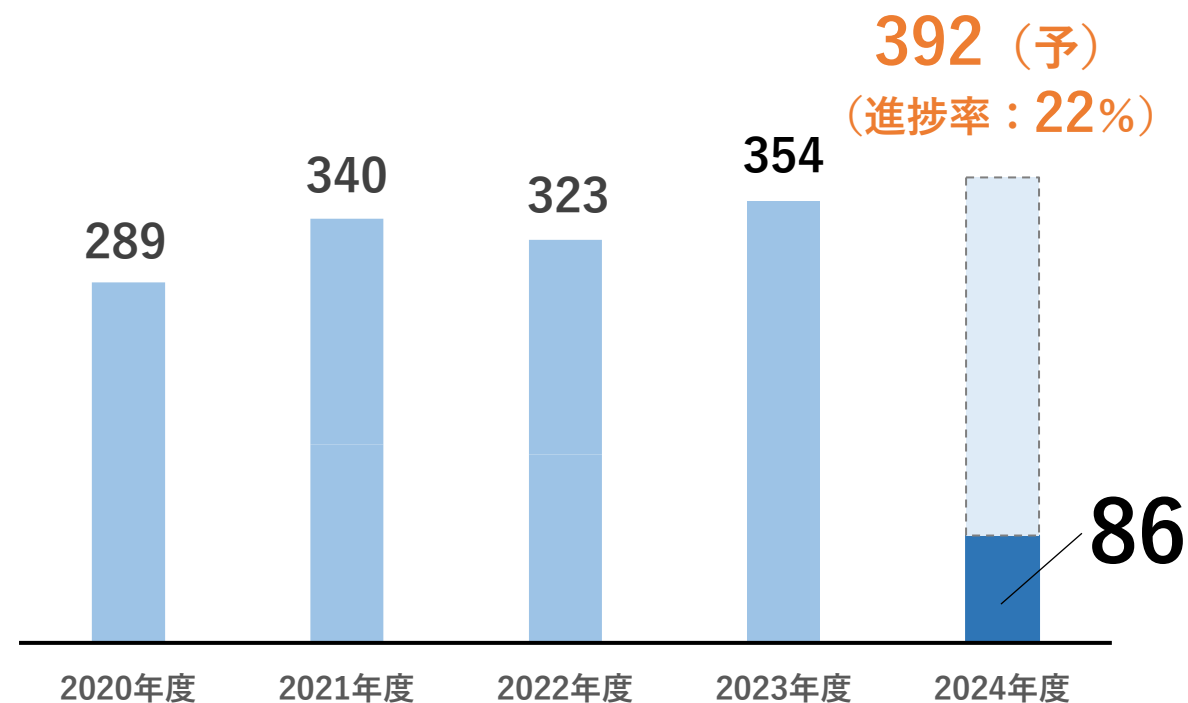
売上高

(単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切捨て、進捗率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

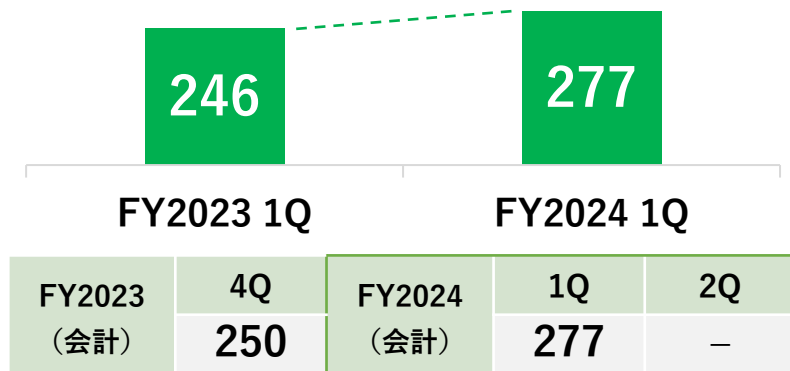
2024年度 第1四半期連結業績（セグメント別）

2024年度 第1四半期連結業績

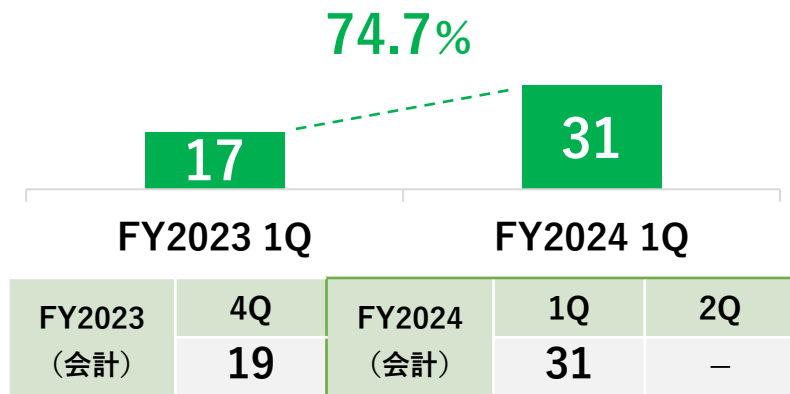
（単位：億円）	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減	増減率（％）
売上高	945	981	35	3.8
化学品	497	564	66	13.4
樹脂添加剤	246	277	31	12.9
情報・電子化学品	94	107	13	13.8
機能化学品	157	179	21	13.9
食品	207	209	2	1.1
ライフサイエンス	221	192	△ 29	△ 13.3
その他	18	14	△ 3	△ 20.3
営業利益	74	86	12	17.1
化学品	55	75	19	36.0
樹脂添加剤	17	31	13	74.7
情報・電子化学品	25	23	△ 1	△ 5.0
機能化学品	12	20	7	63.2
食品	3	13	10	272.7
ライフサイエンス	11	▲ 3	△ 15	-
その他	3	1	△ 2	△ 61.1

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

◆ 売上高 12.9% （単位：億円）



◆ 営業利益 74.7% （単位：億円）



売上高の主な要因（対前年同期）

サプライチェーンにおける余剰在庫の解消や自動車生産の回復を背景に、家電筐体やE V部材向けの難燃剤、自動車向けの光安定剤等の販売好調

◆ 家電（筐体）

好 調 エンジニアリングプラスチック用 難燃剤

◆ 自動車・E V（内外装部材）

好 調 光安定剤、イントロメッセント系難燃剤、核剤

◆ 建築・インフラ

好 調 住宅内装材向け 塩ビ用安定剤

◆ プラスチック製品全般

低 調 汎用酸化防止剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
10億円

数 量
4億円

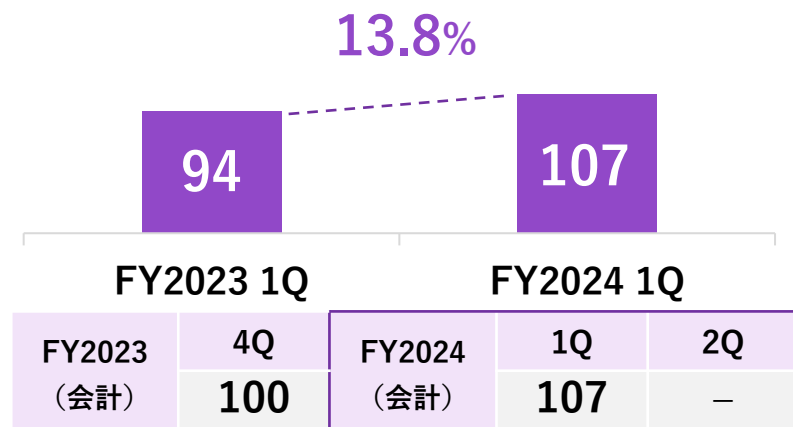
為 替
4億円

固定費他
△ 4億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

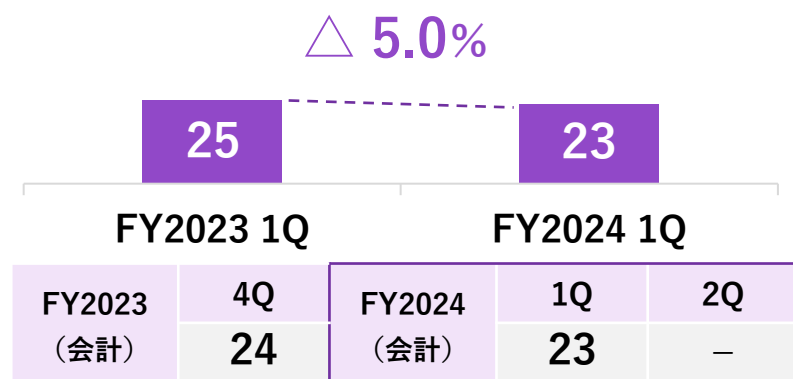
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



売上高の主な要因（対前年同期）

旺盛な A I 関連投資を背景に半導体需要が回復し、
先端 D R A M 向け高誘電材料、先端フォトレジスト向け光酸発生剤の販売好調

◆ 半導体

好 調

先端DRAM向け 高誘電材料
先端リソグラフィ用 光酸発生剤 + 周辺材料

◆ ディスプレイ

好 調

カラーフィルター向け
ブラックマトリクス樹脂、光重合開始剤
光学フィルム向け 光硬化樹脂

低 調

液晶パネル向け エッチング薬液

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
△ 5億円

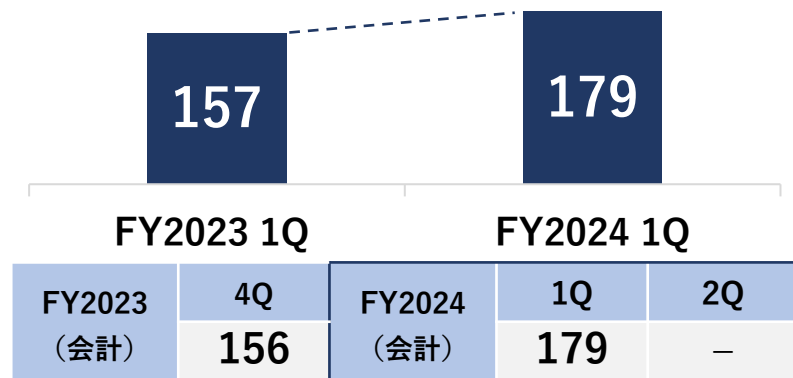
固定費他
△ 4億円

数 量
6億円

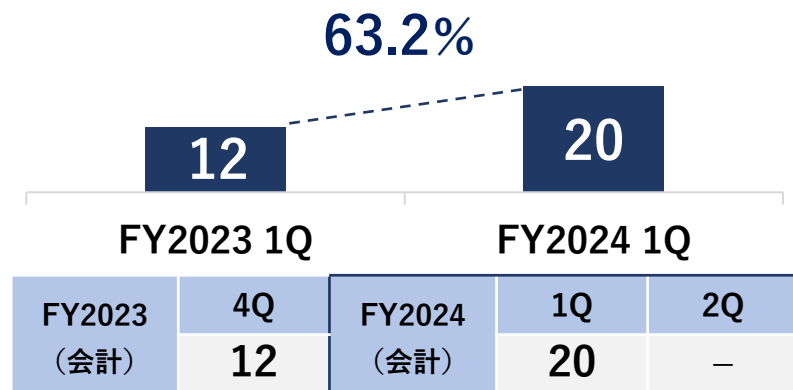
為 替
2億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

◆ 売上高 13.9% （単位：億円）



◆ 営業利益 63.2% （単位：億円）



売上高の主な要因（対前年同期）

- 潤滑油添加剤は、米国や中国での採用拡大とHV車の生産回復を背景に販売好調
- 反応性乳化剤は、インド・中国の住宅塗料向けに採用拡大し販売好調

◆ 自動車

好 調

エンジンオイル用 潤滑油添加剤
構造用接着剤向け エポキシ樹脂
車載用電子部品向け エポキシ樹脂接着剤

◆ 建築・インフラ

好 調

塗料向け 反応性乳化剤、水系樹脂

◆ エレクトロニクス関連

堅 調

過酸化製品

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
6億円

為 替
4億円

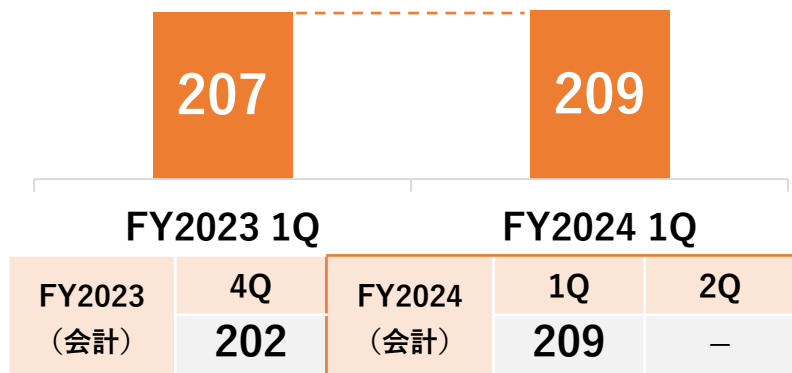
固定費他
△ 2億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

◆ 売上高

(単位：億円)

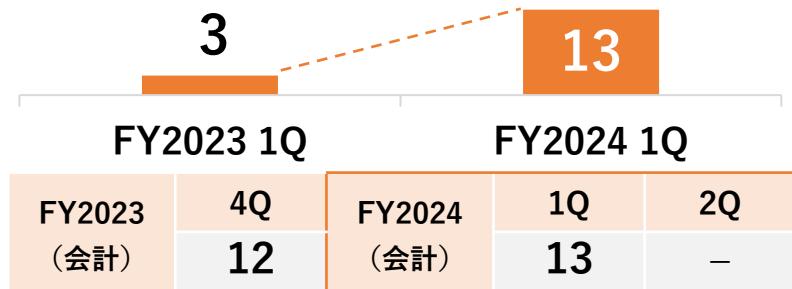
1.1%



◆ 営業利益

(単位：億円)

272.7%



売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 東南アジアで、「マーベラス」など 機能性油脂の販売好調
- ・ プラントベースフード「デリプランツ」シリーズは、国内の製パン向けやカフェメニュー向けで採用増加

◆ 製パン・製菓

好 調

東南アジア・日本
機能性マーガリン「マーベラス」シリーズなど

◆ 洋菓子・デザート

好 調

ホイップクリーム

◆ 製パン・カフェなど

好 調

プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
11億円

数 量
1億円

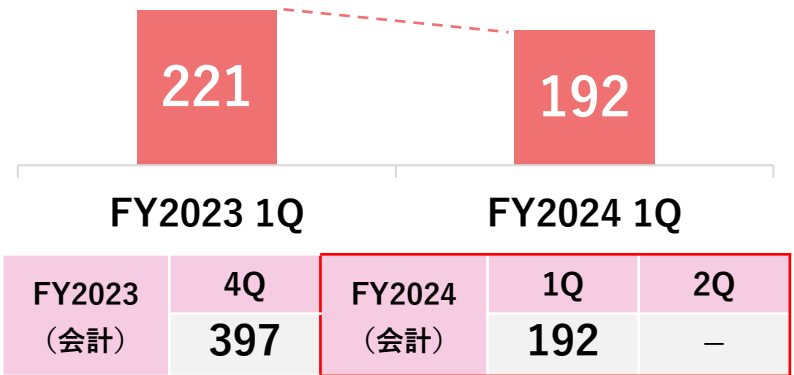
固定費他
△ 3億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

ライフサイエンス事業 ①（日本農薬）

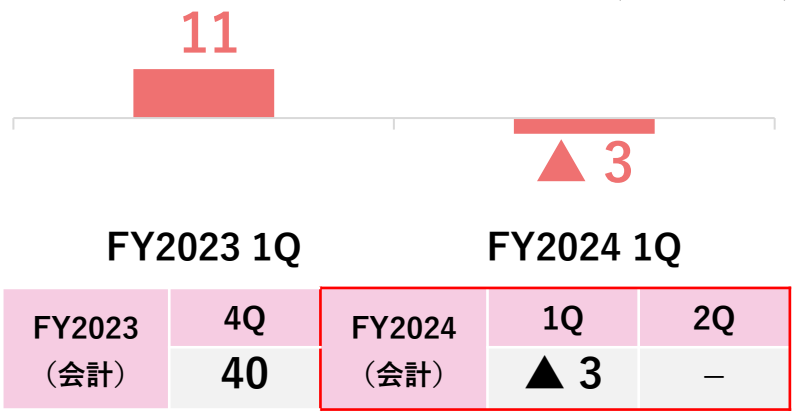
◆ 売上高

△ 13.3% (単位：億円)



◆ 営業利益／損失

(単位：億円)



売上高の主な要因（対前年同期）

農薬は、インドでの在庫調整の影響や、北米で前年度末に殺菌剤の出荷が前倒しになった反動もあり販売低調

◆ 農薬

低調

インド（農薬全般）
北米（殺菌剤）
欧州（バイエル社向け原体販売）

堅調

日本（コルテバ社製品）
ブラジル（殺菌剤ほか）

◆ 医薬品

低調

爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業損失の主な要因（対前年同期）

数量
△ 14億円

固定費
△ 5億円

為替
3億円

価格バランス
1億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

ライフサイエンス事業 ②（日本農薬）

1 Q決算期（4 - 6 月）は営業損失となったが、通期の見通し・業績予想に変更なし

通期
業績予想

営業利益
73億円

市場環境見通し

人口増加や新興国の経済発展を背景に食料需要拡大

▶ 世界の農薬需要は拡大基調が続く見通し

ブラジル

市場での競争激化
販売単価下落

栽培面積の拡大
原料価格の改善（自社）

インド

モンスーンの降雨量不足
農薬需要減少

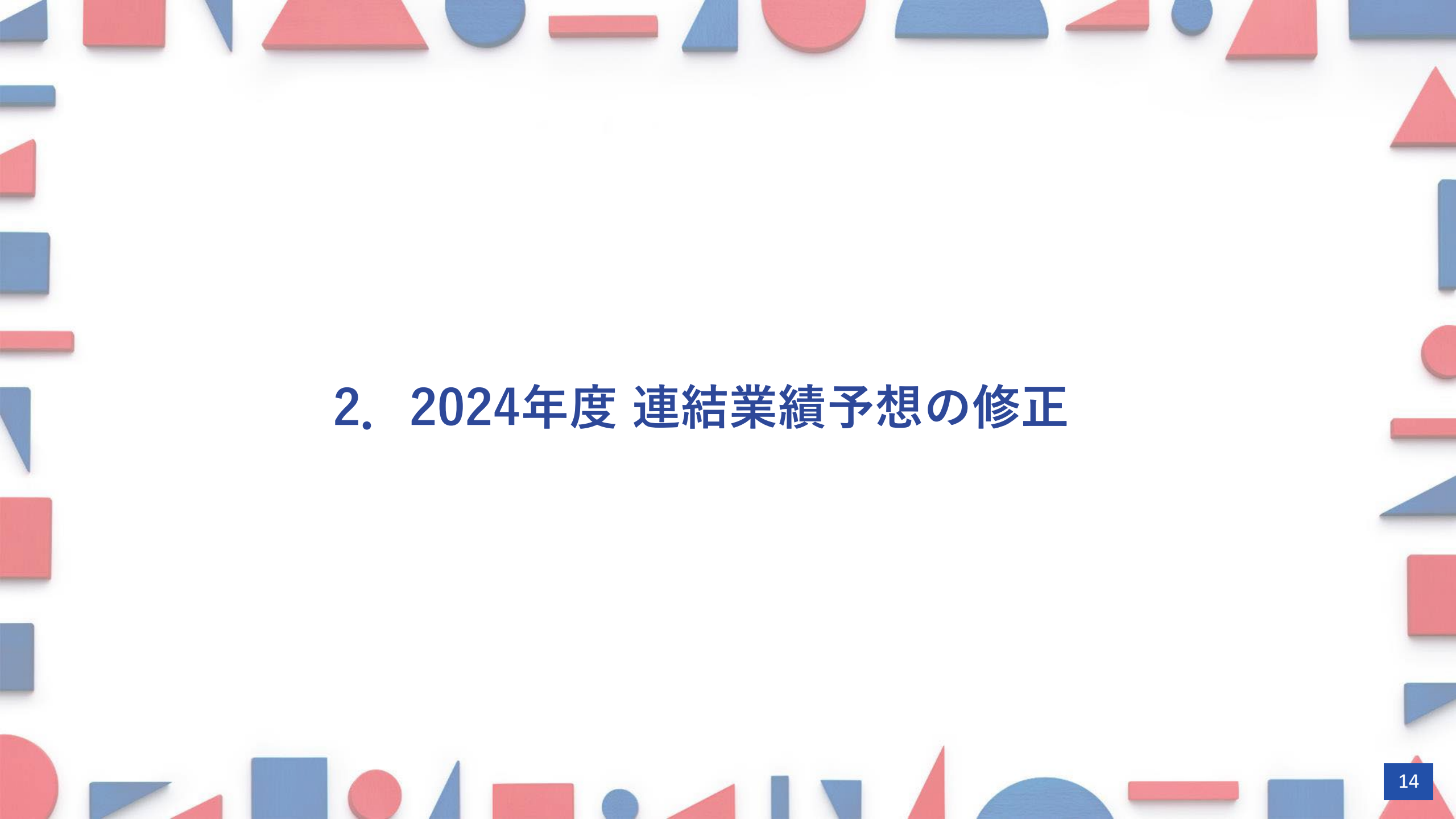
降雨量は回復基調

北 米

海運不安による前倒し出荷
在庫調整

物流ひっ迫は徐々に解消、
在庫量も平常化へ

海外農薬販売の遅れを挽回できる見込み

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2. 2024年度 連結業績予想の修正

2024年度 連結業績予想を修正

(単位：億円)	前回発表予想 (2024/5/14)			今回修正予想 (2024/8/9)				前年度実績
	上期	下期	通期	1Q実績	上期	下期	通期	2023年度
売上高	1,960	2,290	4,250	981	1,970	2,290	4,260	3,997
営業利益	151	222	373	86	170	222	392	354
経常利益	147	217	364	97	169	215	384	357
当期利益	98	132	230	68	117	125	242	229
1株利益	96.0円	129.2円	225.2円	66.8円	114.6円	122.4円	237.0円	224.9円

		2024年度の前提	為替感応度（年度）	営業利益に対する 1円・円高影響
為替	円/\$	140.00	△ 1億円	
	円/€	152.00	△ 0.3億円	
ナフサ	円/KL	68,000		

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

2024年度 連結業績予想（セグメント別）

(単位：億円)	前回発表予想			今回修正予想				増 減	2023年度 実績
	上 期	下 期	通 期	1Q実績	上 期	下 期	通 期		
売上高	1,960	2,290	4,250	981	1,970	2,290	4,260	10	3,997
化学品	1,131	1,170	2,301	564	1,158	1,170	2,328	27	2,041
樹脂添加剤	561	578	1,139	277	586	578	1,164	25	1,004
情報・電子化学品	218	230	448	107	214	230	444	△ 4	390
機能化学品	352	362	714	179	358	362	720	6	646
食品	410	427	837	209	400	427	827	△ 10	840
ライフサイエンス	387	658	1,045	192	387	658	1,045	—	1,030
その他	32	35	67	14	25	35	60	△ 7	86
営業利益	151	222	373	86	170	222	392	19	354
化学品	125	133	258	75	138	133	271	13	236
樹脂添加剤	40	41	81	31	49	41	90	9	79
情報・電子化学品	53	59	112	23	55	59	114	2	97
機能化学品	32	33	65	20	34	33	67	2	59
食品	16	21	37	13	23	21	44	7	41
ライフサイエンス	8	65	73	▲ 3	8	65	73	—	59
その他	2	3	5	1	1	3	4	△ 1	17

据え置き

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

トピックス：化学品事業の組織改定①

2024年7月

化学品営業本部と研究開発本部を廃止し、**電子材料本部**と**環境材料本部**を設置

電子材料本部

“半導体”に最注力

メモリに加え、ロジックIC・後工程へ領域拡大

新規材料・周辺材料

積極投資

環境材料本部

“環境”に最注力

- 選択と集中による事業の再構築
- 電池材料を早期事業化へ

カーボン
ニュートラル
省エネ

人と環境にやさしい



営業・**研究**・**企画**で連携強化、ニーズへ鋭敏に対応
さらなる事業拡大を目指す

トピックス：化学品事業の組織改定②

組織改定に伴い、2024年度第2四半期決算から化学品サブセグメントを改称して開示

【現 在】

【2024年度 2Q以降】

セグメント
化学品
樹脂添加剤
情報・電子化学品
機能化学品
食 品
ライフサイエンス
その他

セグメント
化学品
樹脂添加剤
電子材料
環境材料
食 品
ライフサイエンス
その他



電池材料を環境材料に組み入れ

研究フェーズ

早期事業化へ

■ コーポレート研究
(新規領域・探索研究)

電池材料

環境材料

セグメント
業績への
影響は軽微

トピックス：自己株式の取得／インデックス組み入れ

自己株式の取得

2024年8月

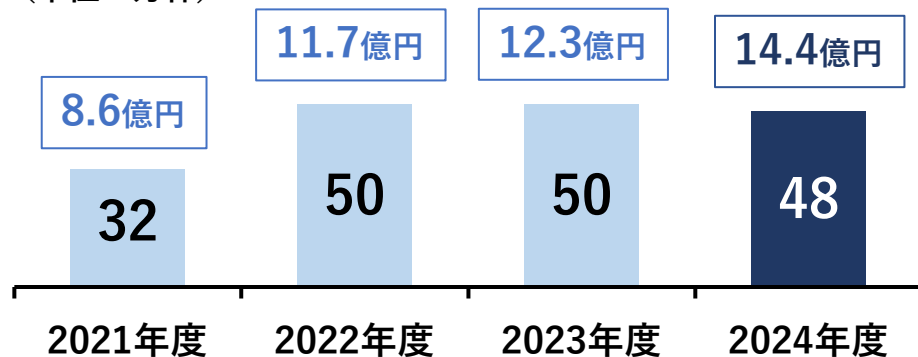
立会外買付取引で自己株式を取得

取得単価
3,012円/株

取得株式数
48万株

取得金額
14億円

(単位：万株)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 取得単価は取締役会決議日(8月22日)の終値

インデックスへの組み入れ

2024年8月

ADEKA株式(証券コード:4401)が
「JPX日経インデックス400」
の構成銘柄に選定

2023年度、2024年度と2年連続

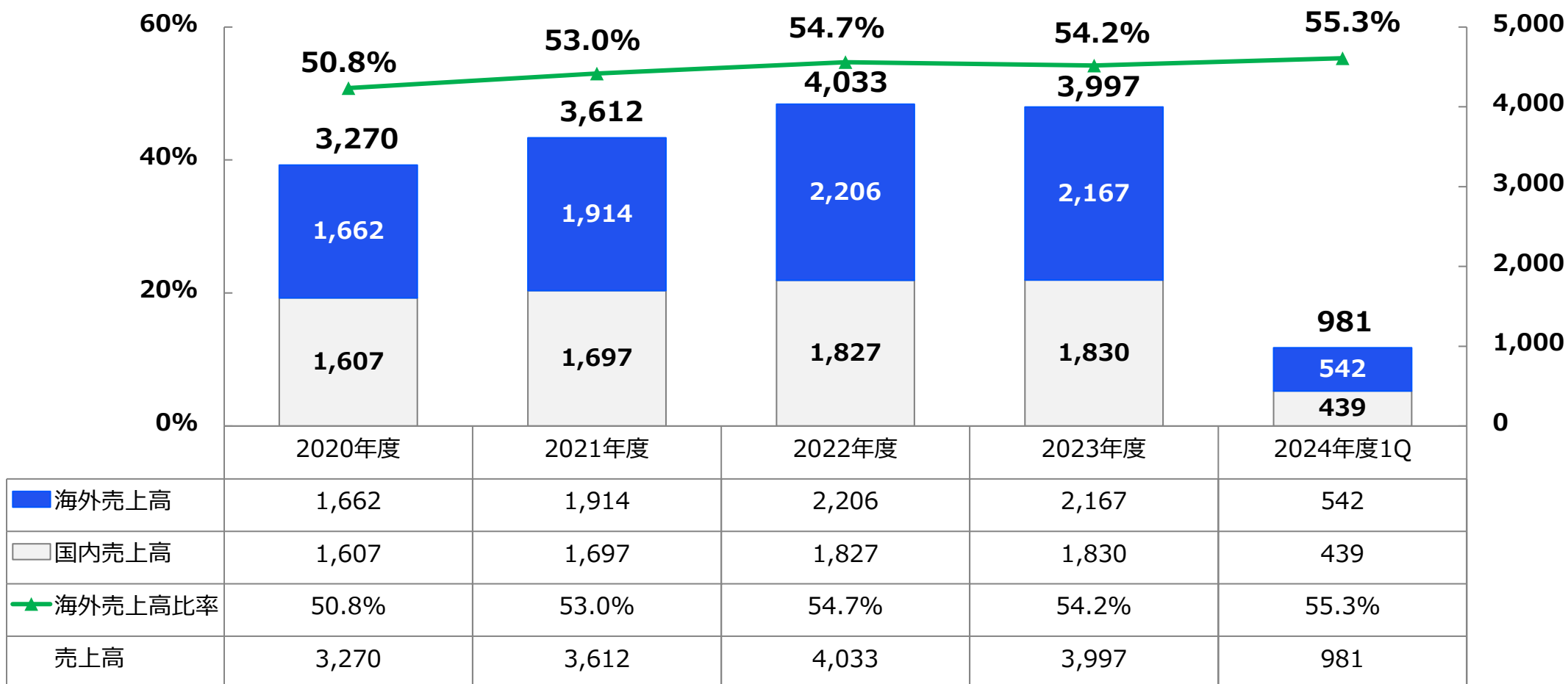


JPX-NIKKEI 400

3. ご参考

ご参考 | 海外売上高

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

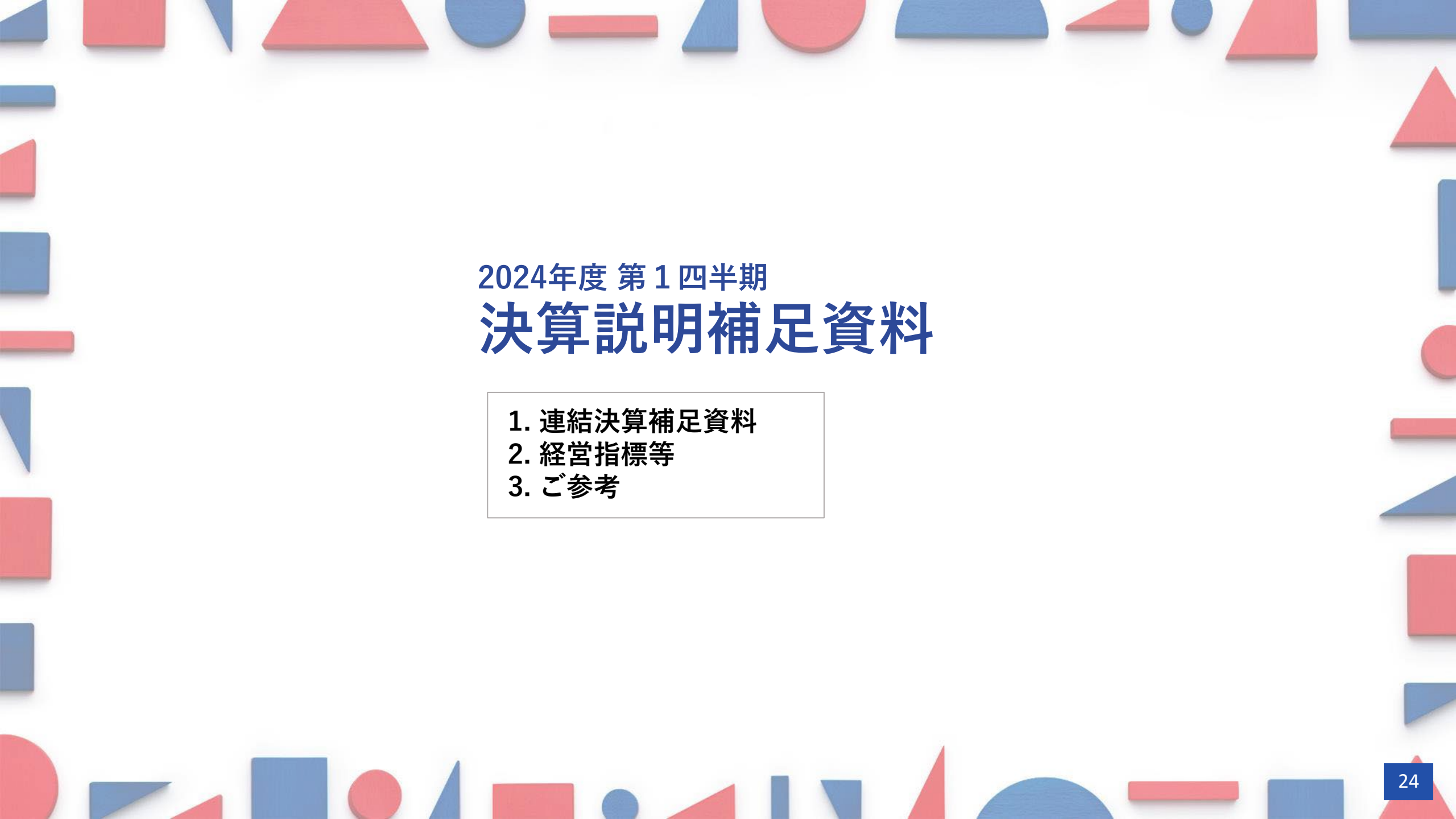
ご参考 | 中期経営計画『ADX 2026』

		2024年度 予想	2026年度 計画
財務指標	営業利益	392億円 (売上高 4,260億円)	530億円 (売上高 5,000億円)
	R O E	8.5%	11.0%
	R O I C	—	10.5%
サステナビリティ 指標	環境貢献製品売上高	—	1,150億円
	G H G 排出量	—	199千t-CO2e
	女性管理職比率	—	6%以上 (単体)
設備投資額		207億円／年度	750億円 (3カ年)
配当方針 (配当性向)		40%	40%以上

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示



Add Goodness



2024年度 第1四半期 決算説明補足資料

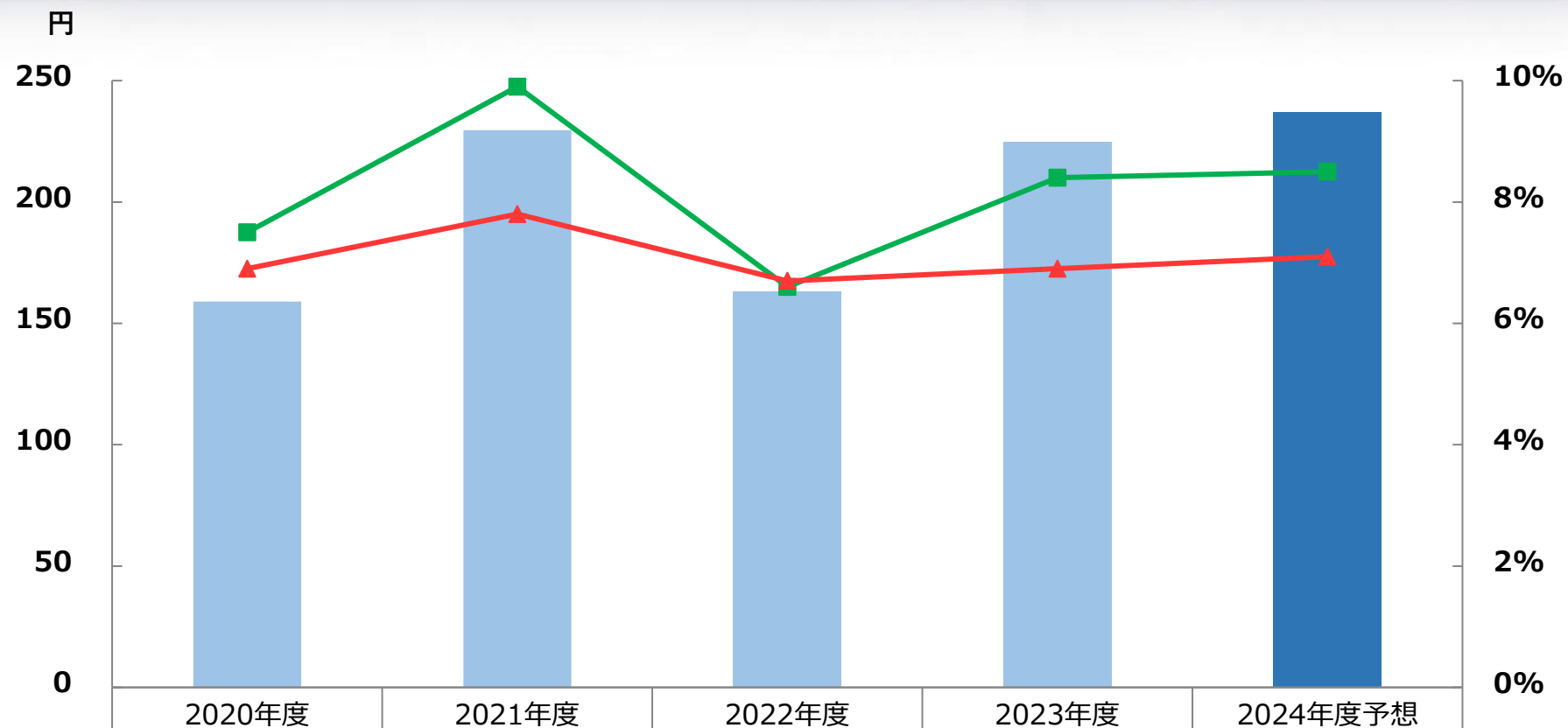
1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1 連結貸借対照表

1. 連結決算補足資料

(単位：億円)	24/3末	24/6末	増減		24/3末	24/6末	増減
流動資産	3,465	3,409	△ 56	負債	2,033	1,983	△ 50
現金及び預金	984	938	△ 46	流動負債	1,344	1,242	△ 102
受取手形及び売掛金等	1,169	1,138	△ 30	固定負債	689	740	51
棚卸資産	1,146	1,176	30	純資産	3,396	3,455	58
その他	166	155	△ 10	株主資本	2,529	2,546	16
固定資産	1,964	2,029	64	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,268	1,298	30	資本剰余金	201	202	0
無形固定資産	164	163	△ 1	利益剰余金	2,131	2,148	16
投資その他の資産	531	566	35	自己株式	△ 33	△ 34	△ 0
				その他の包括利益累計額	321	361	40
				非支配株主持分	545	546	1
資産合計	5,430	5,438	7	負債・純資産合計	5,430	5,438	7

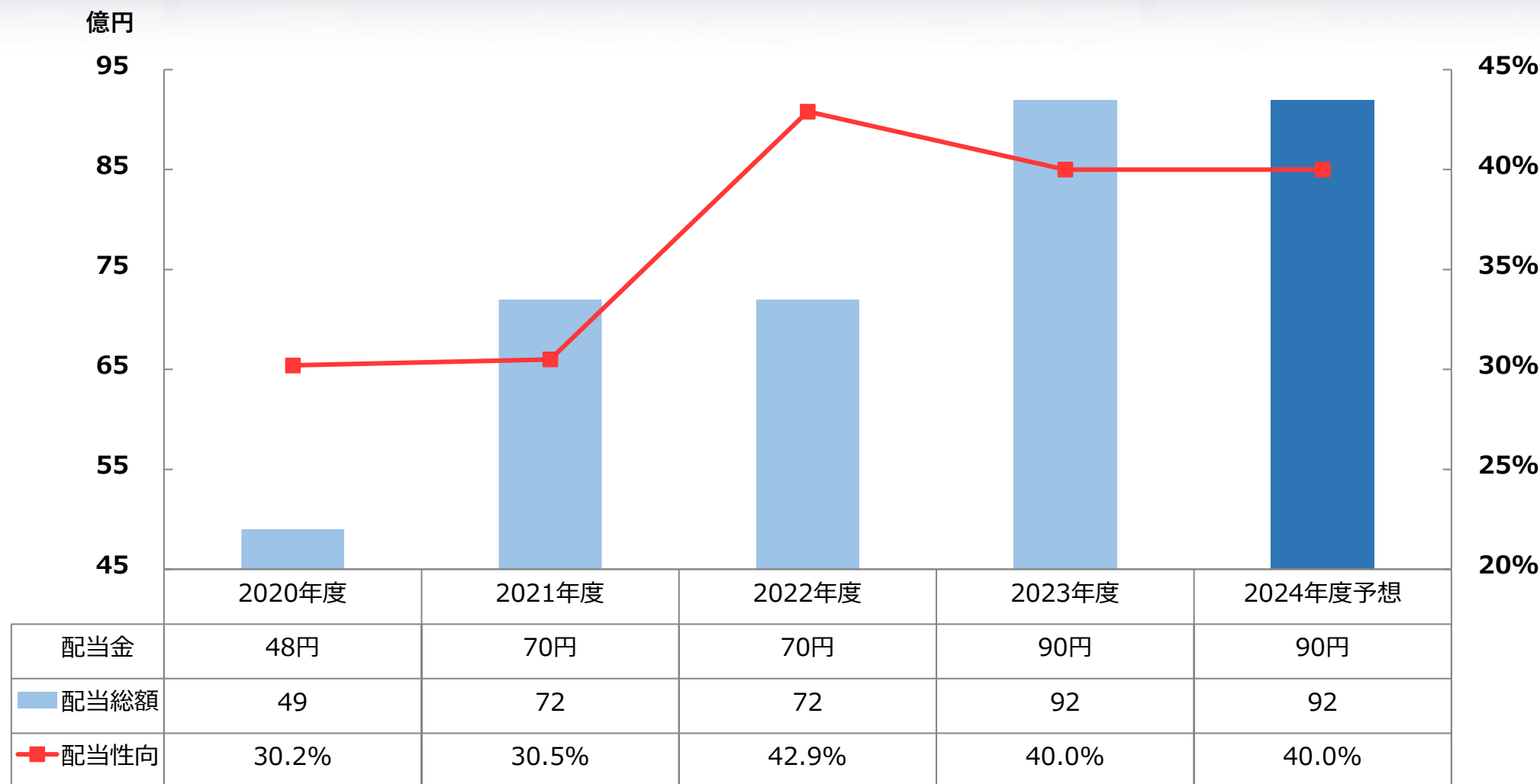
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



■ EPS (1株当り当期純利益)	159.0円	229.6円	163.3円	224.8円	237.0円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	7.5%	9.9%	6.6%	8.4%	8.5%
▲ ROA (総資産経常利益率)	6.9%	7.8%	6.7%	6.9%	7.1%

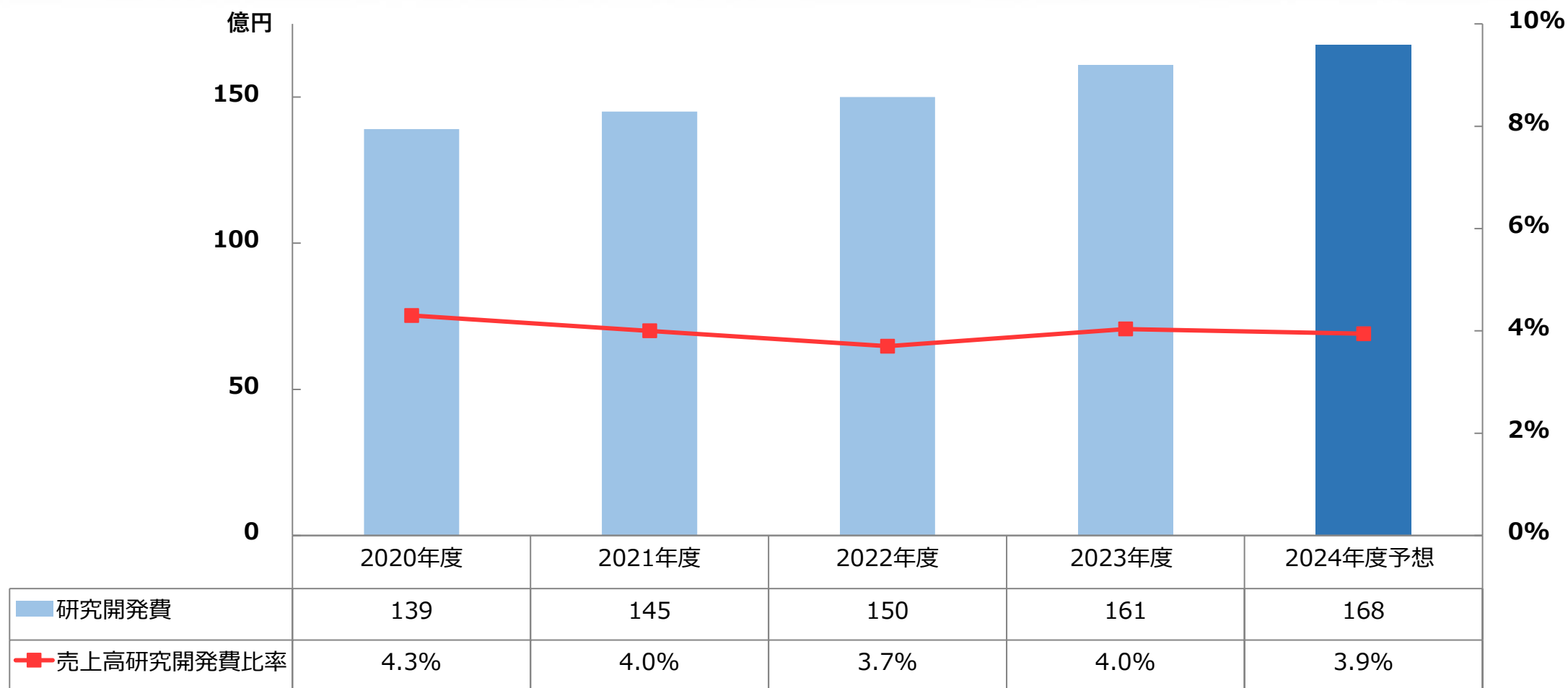
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示 注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2-2 配当金、配当性向



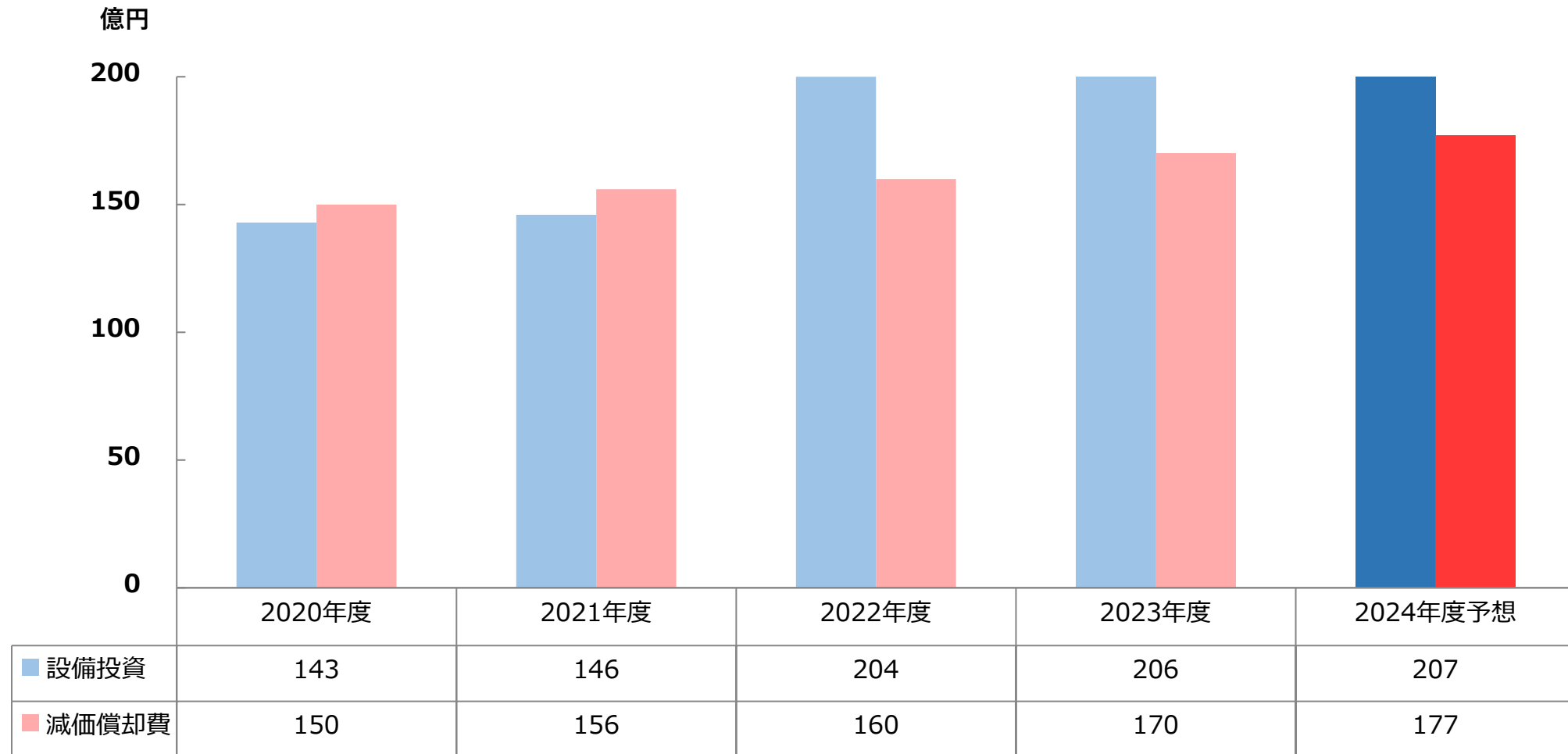
注1) 配当総額は億円未満を切り捨て、配当性向は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載、2024年度予想の配当性向は「配当方針」を記載



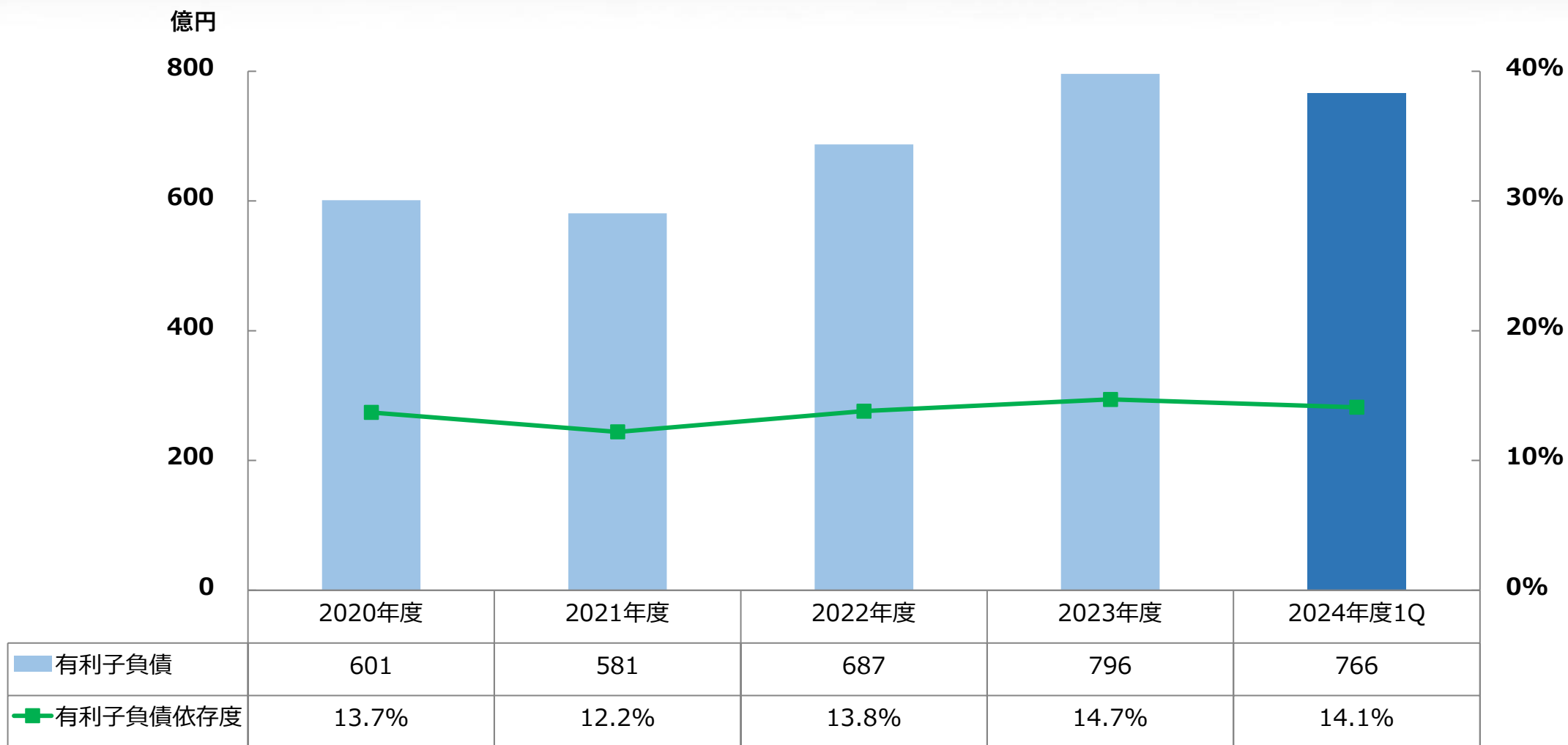
注1) 研究開発費は億円未満を切り捨て、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債



注) 有利子負債は億円未満を切り捨て、有利子負債依存度は小数点第2位を四捨五入して表示

3 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
	その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車両等リース、不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。